



平成27年1月9日

各 位

会社名 株式会社サカタのタネ  
代表者名 代表取締役社長 坂田 宏  
(コード番号 1377 東証第一部)  
取締役執行役員  
問合せ先 管理本部長兼経理部長 宇治田明史  
(TEL. 045-945-8800)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年6月1日~平成26年11月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	25,000	2,200	2,400	1,600	35.55
今回修正予想(B)	26,305	3,231	3,964	2,976	66.13
増減額(B-A)	1,305	1,031	1,564	1,376	
増減率(%)	5.2	46.9	65.2	86.0	
前期第2四半期実績 (平成26年5月期第2四半期)	24,278	2,179	2,339	1,508	33.51

2. 平成27年5月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成26年6月1日～平成26年11月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	15,000	1,100	800	17.78
今回修正予想(B)	16,153	2,190	1,773	39.40
増減額(B-A)	1,153	1,090	973	
増減率(%)	7.7	99.1	121.6	
前期第2四半期実績 (平成26年5月期第2四半期)	15,148	1,301	931	20.70

3. 平成27年5月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年6月1日～平成27年5月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	54,500	4,000	4,400	3,000	66.66
今回修正予想(B)	57,500	4,600	5,400	3,800	84.43
増減額(B-A)	3,000	600	1,000	800	
増減率(%)	5.5	15.0	22.7	26.7	
前期実績 (平成26年5月期)	53,922	3,687	3,909	2,681	59.58

4. 平成27年5月期通期個別業績予想数値の修正（平成26年6月1日～平成27年5月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	33,500	2,000	1,400	31.11
今回修正予想(B)	34,500	2,600	1,900	42.22
増減額(B-A)	1,000	600	500	
増減率(%)	3.0	30.0	35.7	
前期実績 (平成26年5月期)	33,296	1,482	980	21.78

## 5. 修正の理由

### (1) 第2四半期連結・個別業績予想数値の修正について

#### (連結業績)

- ① 売上高は、単体でのアジア向け輸出が大きく伸びたことに加え、北米、ブラジル、インドなどでも野菜種子販売が好調に推移したことなどから、当初予想比13億5百万円増(同5.2%増)の263億5百万円となる見込みです。
- ② 営業利益は、採算性の高い野菜種子売上が各地域で伸びたため、当初予想比10億31百万円増(同46.9%増)の32億31百万円となる見込みです。
- ③ 経常利益につきましても、営業利益の伸びに加え、為替差益が4億4百万円発生したことなどから、当初予想比15億64百万円増(同65.2%増)の39億64百万円となる見込みです。また四半期純利益も、固定資産売却益が2億65百万円発生したことなどから、当初予想比13億76百万円増(同86.0%増)の29億76百万円となる見込みです。

#### (個別業績)

- ① 個別業績は、アジア向けの野菜種子販売が好調に推移し、また国内卸売事業においても苗木、資材の売上が伸びたことなどから、当初予想比増収となる見込みです。
- ② 経常利益は、採算性のよい野菜種子の売上増加による利益増や、販売費及び一般管理費の削減、また円安に伴う為替差益が発生したことなどから、当初予想比10億90百万円増(同99.1%増)の21億90百万円、四半期純利益は当初予想比9億73百万円増(同121.6%増)の17億73百万円とそれぞれ増益となる見込みです。

### (2) 通期連結・個別業績予想数値の修正について

#### (連結業績)

- ① 通期の連結売上高は、上期の売上高の増加に加え、期初から続く円安の影響などから、当初予想比増収となる見込みです。営業利益も上期の野菜種子販売の伸びに伴う利益の増加などにより、当初予想比増益を予想します。また経常利益、当期純利益におきましても、当初想定した為替換算レートから大きく円安が進んだことによる為替の影響や、上期に発生した固定資産売却益などから当初予想比増益となる見込みです。
- ② これらの結果、売上高を575億円(当初予想比30億円増、5.5%増)、営業利益を46億円(当初予想比6億円増、15.0%増)、経常利益を54億円(当初予想比10億円増、22.7%増)、当期純利益を38億円(当初予想比8億円増、26.7%増)に修正いたします。

#### (個別業績)

- ① 下期は当初予想した売上を見込みますが、上期のアジア向け種子販売の大幅な増加などにより、通期では当初予想比増収となる見込みです。
- ② 経常利益、当期純利益につきましても、上期の種子売上の増加に伴う利益増や、円安に伴う為替差益発生などにより、それぞれ当初予想比の増益を予想しております。
- ③ これらの結果、売上高を345億円(当初予想比10億円増、3.0%増)、経常利益を26億円(当初予想比6億円増、30.0%増)、当期純利益を19億円(当初予想比5億円増、35.7%増)に修正いたします。

なお、今回、通期の為替レートを120円/US\$、140円/ユーロに変更しております。

(注) 本資料に記載された業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上